

CAMPUS NEWS

キャンパス
ニュース



弓道の全日本学生選手権で優勝!

8月に開催された弓道の全日本学生選手権の個人女子で、社会学部社会学科3年の中江明美さんが初優勝を果たした。

大会はまず地区予選があり、「4射3中」以上(4本中3本を的に当てる)で通過できる。本大会に入ると、予選で「2射皆中」(2本放ち2本とも当てる)、その後の本選では「射詰め」(各自が1本ずつ放ち、外した人が抜けていく方式)で勝負を争った。中江さんは4本目で見事優勝を決めた。



中江さんが弓道を始めたのは高校生のとき。友人に誘われて弓道部に入部したのがきっかけだという。弓道の魅力については、「弓道はやればやるほどハマるスポーツで、必ずしも年数を重ねた人がうまいわけではなく、ずっと一定の的を出すことは本当に難しい。精神力の戦いであり、自分の心や感情が敏感に弓に現れるスポーツな

ので、そういうところに面白さがあります」という。今大会に向けて毎日弓に触れることを自らに課し、一定の集中力を保ち続けることが勝因と振り返る。同志社大学弓道部の創部100周年という節目に優勝できたことについては、「同志社大学の弓道部は、先輩後輩も関係なくみんなが指導し合える雰囲気です。そんな環境の中で、お互いの技術や精神力を高められたのだと思う」と語る。

中江さんは今大会優勝後、留学のため中国に向けて出発した。中国には10年ほど前に2年間ほど暮らしたことがあり、その経験から中国が好きになったそうだ。優勝と留学という2つの夢を叶えた中江さん。これからも大きく羽ばたいてほしい。

(広報課)

ビジネス研究科グローバルMBAコース開設

今秋、ビジネス研究科のグローバルMBAコースがスタートした。9月15日(火)には日本語・日本文化センター、留学生別科と共に入学式が挙行され、グローバルMBAコースには世界13カ国・地域(アメリカ、オーストラリア、カナダ、中国、台湾、香港、日本、カタール、サウジアラビア、韓国、ベトナム、インドネシア、インド)から20人の新入生を迎えた。入学式の後にはアームストロングでレセプションパーティーが開催され、A.ステイプル・ビジネス研究科教授の司会のもと、新入生とスタッフが新たな門出を



祝いつつ交流をもった。

グローバルMBAコースは、京都における世界水準のビジネス教育プログラムを目指しており、全ての授業が英語で実施される。また正課授業以外にも、企業や海外のビジネススクールから講師を招き、セミナーセッションなどを活発に開催している。10月10日(土)にはP&GジャパンのV.ネストロフ氏が、「The importance of culture and diversity as a competitive advantage in a business model」と題して講演を行い、P&Gをはじめとするグローバル企業の特徴を紹介したうえで、多様性のあるマネジメントがグローバルビジネスを成功に導き得るとの考えを示した。10月と11月にはこのようなセミナーセッションの他、開設記念シンポジウムなども開催された。



今後本コースでは、シエフィールド、オック
スフォード、バークレーといった海外のトップ
レベルのビジネススクールから教員を招聘
する予定だ。また学生たちは、日本国内をは
じめ、アメリカ、中国、ヨーロッパなどで企業
インターンシップに参加することになる。

2010年度の入学志願者は現在募集
中で、詳細はビジネス研究科HP ([http://
gmba.doshisha.ac.jp/apply.html](http://gmba.doshisha.ac.jp/apply.html)) に掲載さ
れている。

(広報課)

留学生別科設立10周年企画 延世大学合唱団コンサート

9月24日(木)、留学生別科設立10周年
企画として、韓国の延世大学合唱団を迎
え、寒梅館ハーディーホールでコンサート
を開催した。延世大学は韓国を代表する
名門私立大学である。現在、本学は韓国の
8つの大学と協定を結んでいるが、延世大

学とは最も古く、1990年に包括協定を
結んでいる。延世大学合唱団は1964年
に韓国で初めての大学合唱団として設立
され、バロック音楽、古典派、ロマン派、現代
音楽など多彩な合唱レパートリーを世界
各国で演奏している。また1990年には
世界レベルからのCDをリリースするな
ど、その活動は高く評価されており、今秋
日本公演を行うことから、留学生別科設立
10周年企画として本学に招待すること
になった。

コンサートでは、J・S・バッハなどの
本格的なクラシックの合唱、バイオリンと
の共演、身体表現を織り交ぜた合唱、チマ
チゴリでの韓国伝統民謡の合唱などさ
まざまなジャンルの合唱が行われた。当日
は多数の在学生・教職員・市民などが集い、



すばらしい混声合唱に聞き入った。またコ
ンサート終了後には、多数の観客がCDを
買い求めるなど、盛況のうちに終了した。

大学院や大学に進学する私費留学生
を受け入れるため1999年に留学生別
科が設立されてから、今年で10周年にな
る。当初は60人でスタートした定員も現
在130人になり、2011年にはさらに
250人にまで増加する予定だ。

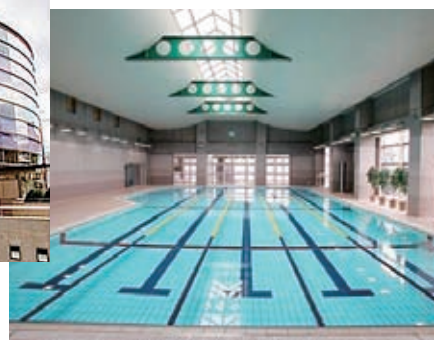
(国際教育課)

継志館がグラウンドオープン!

本学が昨年12月に取得し、改修工事を
終えた「継志館(旧・ホテルレジーナ京都)
が、9月26日(土)にグラウンドオープンを迎
えた。

「継志館」は、地上5階地下1階建ての施
設で、宿泊室、セミナールーム、和室、室内温
水プール、トレーニングジム、サウナ付浴室
などが備わっており、今後はレストランの
開業なども予定している。宿泊室は、国際
化拠点整備事業(グローバル30)構想の推
進によって急増が予想される、外国人留学
生と外国人教員・研究員の利用を主眼に置
いて活用する。

なお、フィットネス施設は、「プール&ジ
ム」として一般開放している。グラウンドオー
プンの日には、開放を心待ちにしていた大
勢の利用者が来館し、順調なスタートを
切った。このプールの水は抜群の透明度で、
京都市内でも有数の美しさを持つ。5コー
スのメインプールの他にも、ジャクジーや



子供用プールがあり、どなたにも楽しんで
いただける。またジムでは、ランニングマシ
ン、エアロバイク、筋力トレーニングマシン
など各種トレーニング機器が備わってお
り、目的にあわせたさまざまな運動が可能
だ。さらに、フィットネスを終えた後は、大
浴場とサウナでリラックスタイムを過ごす
こともできる。本学学生には、割引料金(1
日利用券1,000円を800円)が適用
されるので、ぜひ有意義に活用してほしい。
フィットネスのお問い合わせ先…

(株)同志社エンタープライズ

TEL 075-251-3290

営業時間10:00~21:30 最終受付20:30

(企画課)

同志社京田辺祭2009

10月31日(土)、11月1日(日)の2日間今年度で5回目を迎える「同志社京田辺祭2009」(愛称:ADAM祭)を開催した。



なった。また、京田辺市民から集めた廃油を使用して発電するバイオディーゼルの実施し、環境に配慮した祭りをアピールできた。



1日目は晴天、2日目は大雨という秋の気まぐれな天気にも関わらず、今年も2万人の来場者が京田辺キャンパスを訪れた。模擬店、手作り市、フリーマーケットやお笑いライブ、音楽ライブなど、大人から子どもまで楽しめる祭りとなった。

今後も学生、教職員、市民が一体となった祭りを目指し、大学と地域の架け橋となるよう開催していきたい。

(京田辺校地総務課)

第36回

Neesima Room 企画展

「新島八重の生涯 —進取と矜持—」

2010年は新島八重の生誕165周年にあたり、現在、Neesima Roomで企画展を開催中です。1845年に会津藩に生まれ、1932年に永眠するまでの八重の生涯は、さまざまなキーワードで読み解かれてきました。会津戦争、女丈夫、新島襄の妻、クリスチャン、篤志看護婦、茶道などがその最たるものでしょう。最近ではテレビ番組で取り上げられ、八重が同世代の女性には見られない先進的な存在であったことが浮き彫りにされています。確かに、八重の進取性は注目するものですが、同時にその行動は常に彼女なりの理由に基づくものであったことがうかがわれます。



今回は八重の生涯のうち、会津戦争時代、同志社時代、篤志看護婦時代に着目します。展示を通じて八重の進取性とそこに見出される彼女の矜持を感じとっていただければ幸いです。

展示期間: 1月31日(日)まで

ただし、祝日、12月14日、23日、1月6日は閉室

時間: 10:00~17:00(土日は16:00まで)
会場: 今出川校地ハリス理化学館2階

Neesima Room

主催: 同志社社史資料センター
協賛: 京都知恵と力の博覧会

お問い合わせ先: 同志社社史資料センター
TEL 075-1251-3042

【特別資料の展示】12月13日(日)まで
会津若松市、会津若松市立会津図書館、福島県立博物館、会津武家屋敷が所蔵する資料を展示します。

【公開講演会】12月12日(土) 13:00~15:00
至誠館21番教室

テーマ「新島八重という人を語る」
講師 野口信一氏(会津若松市立

会津図書館館長)

河野仁昭氏(元同志社社史資料室室長)

シック音楽を取り入れるきっかけの場となることを目的として、コンサートを企画しました。

テーマは「打楽器を使った世界のダンス・フェスティバル」です。打楽器演奏によるパフォーマンスなど、クラシックに興味がない方ももちろん、既にクラシックファンの方にとっても楽しめるプログラムとなっています。一夜限りのサプライズコンサートをどうぞお楽しみください。

コンサートタイトル: 「Shall we rhythm? パーカーカッションの航海へ」

企画内容: 学生が学生に贈るサプライズクラシックコンサート! 音で体感、世界のダンス! パーカーカッションデュオ「DuoMAG+あゆみ」(上中あさみ、菊本歩)による演奏
お年玉チケットプレゼント
日時: 1月6日(水) 18:00

場所: 京都文化博物館別館ホール
地下鉄「烏丸御池駅」下車、5番出口から三条通を東へ徒歩3分

入場料: 無料(先着200人入場可能)
メールでの事前予約可。

立ち見の場合あり(入場をお断りする場合があります)。

未就学児入場可能。

主催: プロジェクト科目「クラシックコンサート文化を創る」プロジェクト2009

お問い合わせ先:

E-mail: bsg5039@mail2.doshisha.ac.jp
TEL 090-15867-18253 (森下)

プロジェクト科目 企画コンサート開催

「学生の街」京都の主役である大学生の皆さんに、「こんなクラシックがあるんだ!」という体感、そして日常生活にクラ

アッセンブリーアワー企画 公開講演会

トヨタ自動車株式会社取締役会長の張富士夫氏をお招きし、「現在のグローバルビジネス社会における必要な人材とは」という題目でご講演頂きます。ぜひご来場下さい。

日時：1月20日(水) 14:30

場所：今出川校地寒梅館ハーディーホール

入場料：無料

お問い合わせ先：

アイセック同志社大学委員会

伊藤雅展(法学部3年)

E-mail masaj13do@yahoo.co.jp

URL <http://www.aiesec.jp/do>

共催：アッセンブリーアワー学生企画



今年度の新司法試験結果について

今年度の新司法試験合格者が法務省から発表され、同志社大学大学院司法研究科(法科大学院)では45人が合格しました。関係各位のこれまでのご支援にお礼申し上げます。この結果をうけて、9月26日(土)に「2009年度同志社大学法科大学院司法試験合格

者祝賀パーティ」を平安会館にて盛大に執り行いました。

法科大学院を取り巻く状況はなお不透明であり、その環境は非常に厳しいものがあります。本法科大学院では学生の学力の二層の向上をはかるため、本年度に入りさまざまな取り組みをより積極的に行っています。少人数教育を徹底して「教育の質」をさらに高めるため、入学定員の削減(150人を120人に削減)に取り組むとともに、少人数教育の徹底をはかり、文書作成能力の向上に向けた科目等の創設の他、正課外の導入教育などの充実等も進めています。今後も引き続きこのような取り組みを進めていく予定です。

このような法科大学院を取り巻く環境をご理解のうえ、同志社大学法科大学院へ今後さらなるご支援を賜りますようお願いいたします。次第です。

(占部裕典 司法研究科教授)

■平成21年 新司法試験 法科大学院別合格者数

順位	大学名	合格者数(受験者数)
1位	東大	216人(389人)
2位	中央大	162人(373人)
3位	慶応義塾大	147人(317人)
4位	京大	145人(288人)
5位	早稲田大	124人(380人)
6位	明治大	96人(310人)
7位	一橋大	83人(132人)
8位	神戸大	73人(149人)
9位	北海道大	63人(156人)
10位	立命館大	60人(243人)
11位	大阪大	52人(155人)
12位	九州大	46人(174人)
13位	同志社大	45人(235人)

本学教員の執筆図書紹介 (価格は税別)

- メディア研究とジャーナリズム 渡辺武連 他 責任編集 ミネルヴァ書房 4,500円
- 会計学の基本 志賀理 他 執筆 森山書店 2,200円
- 「手治拾遺物語」の中の昔話 廣田収 著 新興社 1,000円
- 判決理由の法理論 濱真郎 他 共訳 成文堂 3,800円
- アジア地域のモノづくり経営 鈴木良始 他 執筆 学文社 2,000円
- 社会福祉援助学 金子結里乃 他 執筆 学文社 1,800円
- 経営と労働法務の理論と実務 土田道夫 他 執筆 中央経済社 1,200円
- 東京大学 エリート養成機関の盛衰 橋本俊昭 著 岩波書店 2,000円
- オックスフォード ヨーロッパ近代史 山田史郎 他 監訳 ミネルヴァ書房 4,000円
- 技術ブランド戦略 高井健二 他 著 日本経済新聞出版社 2,400円
- 企業の社会的責任と労働 鈴木良始 谷本啓 他 編 労務理論学会 3,000円
- 橋本俊昭 八木匠 著 日本評論社 1,800円
- イギリス王政復古演劇案内 圓月勝博 他 編 松柏社 2,000円
- マクロ経済と産業構造 北坂真一 他 執筆 慶應義塾大学出版会 4,800円
- ハイエクの社会理論 森田雅憲 著 日本経済評論社 4,800円
- 秋成文学の生成 村合勝広 他 編 森山書店 6,500円
- 三輪山と日本古代史 辰巳和弘 他 著 学生社 1,980円
- 新株予約権 森本滋 他 編 商事法務 5,000円
- デューリー六法 2010 平成22年版 二井誠 他 編 三和堂 1,800円
- 新・日本のお金持ち研究 橋本俊昭 他 著 日本経済新聞出版社 1,700円
- 中国古典社会における佛教の諸相 西脇常記 著 知照堂 9,500円
- リスボン条約による欧州統合の新展開 藤江義勝 編者 ミネルヴァ書房 4,000円

変わる世界の小売業

- 窪谷照 他 訳者 新評論 4,500円
- グローバル時代のローカル・コモンズ 室田武 編者 ミネルヴァ書房 3,800円
- 持続可能な未来のための民主主義 山谷清志 他 執筆 ミネルヴァ書房 3,800円
- アメリカの愛国心とアイデンティティ 肥後本秀男 山田史郎 他 執筆 彰流社 2,800円

PRESENT!

京都市バス専用1日乗車カード

区政130周年を迎えた上京区とのタイアップ広告として、京都市バス専用1日乗車カードを企画しました。10月中旬から市バスの各営業所・案内所や車内で販売されています(学内では販売していません)。製作枚数が売り切れ次第、終了となります。今回は10人の方にプレゼントします。京都に住みながら普段なかなか訪れることのない観光地を巡ってみてはいかがでしょうか?ご希望の方はハガキかe-mailで、住所・氏名・学部(卒業生の方は出身学部と卒業年)、本誌の感想をご記入のうえ、1月20日(消印有効)までにご応募ください(市バス1日乗車カード希望と明記のこと。応募多数の場合は抽選)。



野球は小説よりも奇なり

—サヨナラ・ゲームの醍醐味—

「野球は下駄を履くまでわからない」とはよく耳にすることはである。先発メン

バー発表と同時に負けを予測できた今シーズンの阪神の試合は別として、この言い回しはそもそも何が起るかわからない野球本来の魅力を見事に要約している。歡喜と悲哀、希望と絶望が常に背中合わせで、どちらへ転ぶかは予測不可能という野球の持つ「unpredictability」を象徴する試合ほど面白い試合はないであらう。今年の大リーグ、ア・リーグ中部地区の優勝を決めるタイガースとツインズのプレーオフでも劇的な幕切れが待っていた。五対五の同点で迎えた延長十二回裏、シーズン打率二割にも達していないカシーヤのライト前適時打で試合にけりがついたが、こんなサヨナラを誰が予想した

だろうか。抱き合って喜ぶツインズの選手を横目で見ながら肩を落としてベンチへ引き上げるタイガースの選手。天国と地獄を同時に見たような気がする。

空前絶後の劇的サヨナラ・ホームランと言え、1951年、ナ・リーグの優勝を決めるプレーオフ第三戦でジャイアン

ツのトムソンが、ドジャースのブランカから打ったあの逆転サヨナラ・スリーランが浮かんできく。九回表を終わって九分九厘ペナントを制したと思い始めていたドジャース・ファンは、改めて「野球は下駄を履くまでわからない」と痛感したことであらう。ドジャース・ファンのマラマッドがこの悔しさをバネにして「ナチュラル」(1952)を書いたかどうかは知らないが、彼が眠れぬ一夜を過ごしたことは想像に難くない。

私にも一本のホームランのためにマクベスよろしく眠りを奪われた印象深い試合がある。1959年6月25日、後楽園球場で行われた阪神対巨人の天覧試合がそれである。長嶋の入団二年目、王と村山がルーキーの年である。三回表に阪神が小山の適時打で先制点をあげるも、五回裏に長嶋と坂崎の連続ホームランで巨人が逆転。六回表には阪神が巨人の藤田を攻めて、三宅の適時打と藤本のツーランで四対二と再逆転。ところが七回裏に王の無我夢中で打った右越え同点ツーランが飛び出し、試合は振り出しに戻る。この年、結果的には

打率一割六分一厘、ホームラン七本で終わるルーキーにエース小山がホームランを献上するとは夢想だにしていなかった。リーフ村山の力投で、試合は同点のまま九回裏を迎える。延長になっても野球中継を続けてくれるかどうか心配しながら、この回の先頭打者として打席に入る長嶋を見つめた。

延長の心配はすぐに吹っ飛んだ。村山がカウントツーツーから投じた内角高目のボールは、レフト西山の頭上を遙かに超えて上段に突き刺さった。捕手の山本は内角低めのサインを出したと言いが、長嶋はこの失投を見逃さなかった。後に長嶋は「ただ先頭打者として塁に出ることだけを考えていた」と告白している。謙虚である。そう言えば、1960年のワールド・シリーズ第七戦、九回裏に九対九の同点で先頭打者として打席に入り、サヨナラ・ホームランを放ったパイレーツのマゼロスキーも同じことを言っている。二人とも「ナチュラル」の思かなロイと違って、欲を出しすぎると「schmiel」になる危険性に気づいていた

のである。人生においても然り。過度の欲は戒めなければならない。



Yoshifumi Yamaguchi

山口 賀史

文学部英文学科教授

奈良生まれの奈良育ち。同志社大学大学院修了。
1977年から2年間、ニューハンプシャー大学にて在外研究。
専門はシェイクスピア劇。
この4月から準硬式野球部部長を務める。

河本宏子さんに聞く



インタビュー
遠藤 美佳さん
アメリカ研究科博士課程
(前期課程)1年次生



遠藤 ● 卒業後、現在までの道のりについてお聞きしたいのですが、まず客室乗務員の仕事を選んだ理由を教えてください。

河本 ● 私たちの頃は就職がとても厳しい時代でした。私は心理学の中でもカウンセリングを勉強し、教職課程も履修していましたので、カウンセラーなど人の話を聞く仕事をするか、あるいは教職に就きたいという気持ちもありました。しかし当時、客室乗務員は女性にしかできない仕事で、年齢制限もありましたので、若いときにしか経験できないと思って挑戦しました。デスクワークのような仕事は、何か別の経験を積んでからでもいいのではないかと思っただけです。ですから、入社したときにはこれほど長く勤めるとは思っておらず、気がついたらあつという間に30年という感じですね。

遠藤 ● 客室乗務員になってからはどのような仕事をされてきたのでしょうか。

河本 ● 私が入社したのは1979年。今では考えられませんが、その当時、客室乗務員は35歳が定年でした。私は同志社女子中・高の出身なので女性の世界には慣れていたつもりですが(笑)、女性ばかりで年功序列の世界ということもあり、正直、少し窮屈な思いを感じたこともありました。最初のうちはまだ「いつか教師になるかもしれない」という気持ちも心のどこかに持っていました。でも入社6、7年目、チーフパーサーの資格を取ろうという時期になると、せっかくな客室乗務員になったのだから目の前のゴールとしてそこまでは頑張ろう、一度はチーフパーサーの役割を経験してみたいと思うようになったの



河本 宏子さん

【1979年文学部
文化学科心理学専攻卒業】

1957年生まれ、京都市出身。79年ANAに入社し、大阪空港支店客室部に配属。86年10月、成田空港支店客室部に異動。99年4月、管理職として関西空港支店客室部に異動。2004年4月から客室本部人材開発部長、06年4月東京客室部長、07年4月客室本部副本部長を経て、09年4月にANAで2人目の女性役員として現職に就いた。

です。そして86年、ANAが念願の定期国際線運航を開始することになりました。3月にグアム便、7月に米国土便が就航し、同時にそれまで客室乗務員のベースは東京と大阪にしかなかったのですが、新しく成田と国際線のための客室乗務員のベースが作られることになったのです。その3カ月後、10月には私も成田に異動することになりました。そして実際に国際線を飛び始めると、ますます仕事が面白くなり夢中になっていきました。

遠藤 ● どのところが面白かったのですか。

河本 ● みんな国際線を飛ぶのが初めてでしたので、失敗もたくさんありましたが、ANAの国際線サービスのあり方やお客様

河本宏子さんに聞く



への対応などについて、寮やホテルの部屋に集まってよく語り合いましたね。自分たちがこれからのANAの国際線を作っていくんだという気持ちがありました。そうするうちにいろいろな役割を与えられるようになって、パーサー、チーフパーサーを務めるようになって、今度は機内で客室乗務員をまとめるだけでなく一つの班を任せられるようになり、当時のグループスーパーパーサーと呼んでいた班長になると、班員が10人ほどいて、客室乗務員を育成する仕事を任せられるのです。さらに、そのグループスーパーパーサーを束ねるアシスタントマネージャー

になり、その次には管理職になってANAの客室部門全体を運営していくのに携わりたと思うようになり、と、だんだん階段を上がっていくうちに、他の仕事をしたという気持ちはすっかり無くなってしまった(笑)。

遠藤 ●どの時点から管理職になるのですか。

河本 ●現在は管理職チャレンジ制度があり、入社15年目ぐらいで管理職試験を受験できるようにあります。私の場合は、チーフパーサーになったのが入社7年目。87年にグループスーパーパーサーになり、99年にキャビンマネージャーとして管理職になりました。

いろいろなケースがありました。また、国際線の運航が始まった当時はノウハウが今ほど蓄積されておらず、初めて遭遇することも多くありましたね。ワシントン線が長いフライトで14時間くらいかかるのですが、天候によっては急遽、途中のアンカレッジポイントに着陸したこともありましたが、それの出来事は大変でしたが、そのようなことを経て、会社としても支援体制が整っていき、私自身もいろいろな経験を積みました。

遠藤 ●客室乗務員としてのお仕事はイメージできるのですが、現在のお仕事の魅力や喜びはどういったところにあるのでしょうか。

河本 ●最後にお客様に「ANAの飛行機に乗って良かった」と言っていたのは、やはり客室乗務員の笑顔やホスピタリティがすごく大きいと思います。そういう客室乗務員を育てていく仕組みを作ることが、客室本部長としての私の役割となります。ですから、みんながやりがいを持ってそれぞれの役割に関わってくれているというのが、自身の仕事の喜びです。一人ひとりが目標を持つ、そういう人たちが集まってお客様に良いサービスを提供していく。そんな職場を作っていくことが私の仕事なのです。ANAに入社して良かった、ANAの仕事が好きだと、入社して1年目の人も20年経っている人も、それぞれの立場で思ってもらえるような集合体をしつかり作っていきたいと思っています。

遠藤 ●リーダーとして心がけていることや、後輩の指導育成で気をつけていることがありましたら教えてください。

河本 ●まず人の話を聞くことですね。自分が話すよりもたくさん聞くことが大切です。よく話していることなのですが、神様が口は1つだけれども耳を2つ作られたというの、それだけたくさん聞いてくださいということですね。これは、大学時代にカウンセリングを学んだことと関係があるのかもしれない。

遠藤 ●大学時代に勉強したことが今でも役に立っているのですか。

河本 ●そんなふうにつながるとはそのときには思っていませんでしたが、結果的に役に立つことはあるのかもしれない。特に気をつけているのは、人に対して関心を持つということ。マザー・テレサさんの言葉で「愛情の反対は憎しみではなく無関心だ」というのがあります。無視されるのは辛いことですから、一人ひとりが必要なんだという気持ちを持って接すること。そのためには相手をよく観察して、変化に気づく、気づいてそれを声に出して言う、その繰り返しが大仕事だと思っています。例えば、客室乗務員は人数が多いので、役職が上になると部下の数が増えていきます。50人くらいならわかるけれど、5000人になったらやっぱり一人ずつの顔と名前が覚えられません。でも、いつも一人ひとりに関心を持っていたい。何かあれば名前前で呼びかけたいし、何があったかわかっているということもきちんと伝えられたい。ただ、それを一人でやろうとしても限界があるので、たくさん仲間と共にやっています。

遠藤 ●他に、学生時代の経験で役立っている

た。制服を脱いだのは04年、部長職に就いたときで、それまで25年間空を飛んでいました。客室乗務員は良いフライトを作りあげていくのが最大のミッションですから、地上に降りた今も、私もみんなと一緒に空を飛んでいるつもりです。

遠藤 ●仕事のうえでのご苦労とはどのようなものでしょうか。

河本 ●本当に楽しかったのが、苦労と思ったことはそれほどありません。ただ、難しいと思うことはありましたね。お客様と接する時間が長い中で、食事のメニューなどお客様のご希望に添えなかった場合でも満足して降りていただくためにはどうすればいいかとか、急に体の具合が悪くなるお客様が出たりとか、日々

いろいろなケースがありました。また、国際線の運航が始まった当時はノウハウが今ほど蓄積されておらず、初めて遭遇することも多くありましたね。ワシントン線が長いフライトで14時間くらいかかるのですが、天候によっては急遽、途中のアンカレッジポイントに着陸したこともありましたが、それの出来事は大変でしたが、そのようなことを経て、会社としても支援体制が整っていき、私自身もいろいろな経験を積みました。

遠藤 ●客室乗務員としてのお仕事はイメージできるのですが、現在のお仕事の魅力や喜びはどういったところにあるのでしょうか。

河本 ●最後にお客様に「ANAの飛行機に乗って良かった」と言っていたのは、やはり客室乗務員の笑顔やホスピタリティがすごく大きいと思います。そういう客室乗務員を育てていく仕組みを作ることが、客室本部長としての私の役割となります。ですから、みんながやりがいを持ってそれぞれの役割に関わってくれているというのが、自身の仕事の喜びです。一人ひとりが目標を持つ、そういう人たちが集まってお客様に良いサービスを提供していく。そんな職場を作っていくことが私の仕事なのです。ANAに入社して良かった、ANAの仕事が好きだと、入社して1年目の人も20年経っている人も、それぞれの立場で思ってもらえるような集合体をしつかり作っていきたいと思っています。

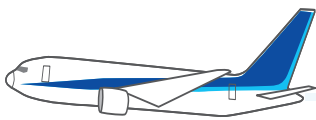
遠藤 ●リーダーとして心がけていることや、後輩の指導育成で気をつけていることがありましたら教えてください。

河本 ●まず人の話を聞くことですね。自分が話すよりもたくさん聞くことが大切です。よく話していることなのですが、神様が口は1つだけれども耳を2つ作られたというの、それだけたくさん聞いてくださいということですね。これは、大学時代にカウンセリングを学んだことと関係があるのかもしれない。

遠藤 ●大学時代に勉強したことが今でも役に立っているのですか。

河本 ●そんなふうにつながるとはそのときには思っていませんでしたが、結果的に役に立つことはあるのかもしれない。特に気をつけているのは、人に対して関心を持つということ。マザー・テレサさんの言葉で「愛情の反対は憎しみではなく無関心だ」というのがあります。無視されるのは辛いことですから、一人ひとりが必要なんだという気持ちを持って接すること。そのためには相手をよく観察して、変化に気づく、気づいてそれを声に出して言う、その繰り返しが大仕事だと思っています。例えば、客室乗務員は人数が多いので、役職が上になると部下の数が増えていきます。50人くらいならわかるけれど、5000人になったらやっぱり一人ずつの顔と名前が覚えられません。でも、いつも一人ひとりに関心を持っていたい。何かあれば名前前で呼びかけたいし、何があったかわかっているということもきちんと伝えられたい。ただ、それを一人でやろうとしても限界があるので、たくさん仲間と共にやっています。

遠藤 ●他に、学生時代の経験で役立っている



と感じられることはありませんか。

河本●同志社は自由な校風でオーブンマインドでしたから、誰と会ってもすぐ友達になりました。社内に限らず、他の会社の人でも友人関係を築くことに躊躇しないスピリットは、中学・高校、そして大学の10年間で身についたことかなと思います。

遠藤●学生時代にやっておくべきことや、学生へのメッセージがあればお願いします。

河本●好きなことを見つけてほしい、自分が何が好きなのかを探してほしいということですね。堺屋太一さんの本で読んだことなのですが、「人生を選ぶとき有利だという理由で道を選ぶべきではない。自分の好きな道を選ぶべきである。好きなことは必ず上手になる」という言葉があります。好きという理由で道を選べば、一生懸命になれるしどんな苦勞があっても乗り越えることができると思います。学生の皆さんには「英語を勉強した方が

いいですよ」とよく言うのですが、英語を勉強することが先にあるのではなくて、いろいろな人とコミュニケーションを取りたい、いろいろな国に旅行したい、そう思うたら英語を話せた方が楽しいじゃないですか。ですから、自分の好きなものが何なのかを見つけていってほしい。私は旅行も好きだし、食べることも好きです。国際線のサービスは食べ物の種類、飲み物の種類をたくさん覚えたいといけませんでしたが、まったく辛くはありませんでした。ワインか、この土地に行ったらこのお酒を飲んでみようとか、そんなふうに考えていくと、人生がとても楽しくなりますね。

遠藤●好きなことを見つけるには何をすればいいのでしょうか。

河本●自分が夢中になっている状態を思えばいいんじゃないかしら。好きになろうと思ったとき、そこにもう無理があるような気がします。夢中になって時間を忘れて何かをしている、それが好きなことなのだと思います。好きになろうとか、ならなきゃと思ったりダメで、自分の心が落ち着くところを探していけばいいのではないのでしょうか。

遠藤●ANAではどのような人材を求めているのでしょうか。

河本●客室乗務員の採用では、いろいろな個性の方が入社しています。全く別の業種で仕事をしていましたとか、海外に留学し

ていましたとか、今はいろいろな人を採用しています。そんな人たちの集合体の方が強いチームを作ることができるのです。いったん会社を辞めて家庭に入ったけれどやっぱりまた飛びたい、という人を再雇用するような制度も始まっています。私の世代では退職してからまた仕事をするなんていうことは考えられなかったことですが、そうしたニーズに応える、新しい動きの先端をいく企業に、私たち客室乗務員部門だけでなくANA全体として成長していきたいと思っています。

遠藤●私は学部生のときに一度就職活動をしたのですが、今の勉強をもう少し続けたらと思うと、大学院進学という道を選びました。友人の中には就職活動を始めている人もいて、私は進学するか、留学するか、それとも就職活動をして働いた方がいいのか、まだ決

められずにいます。何かアドバイスをいただけたらうれしいのですが。

河本●やりたいことがあるなら、やらないう後悔するよりやってみた方がいい。道は一度決めたら終わりじゃなくて、ダメなら変えることもできる、私はそう思っているのです。行きたいなら行きたい、やりたいならやりたい、やらせてほしかったらやらせてもらえるように自分を準備していく。もし思うようにいかなかったとしても、その準備は決してムダにはならないので、やりたいと思ったら、自分でしっかり準備をしていくことが大切ですね。

遠藤●河本さんのお話を伺って、私も目の前のことを少しずつステップアップしていけば、何かに辿り着けると思えるようになりました。本日は貴重なお話をありがとうございました。

INTERVIEWER

遠藤 美佳さん

アメリカ研究科
博士課程(前期課程)1年次

文学部英文学科でアメリカ文学を学んだことから、アメリカ史に興味を持つようになり、大学院アメリカ研究科へ進学。現在、ネイティブ・アメリカンと白人との異人種間結婚禁止法について研究している。



好きなことをやればよいという アドバイスが自信に

「夢中になれることを探してみよう」と言われ、ハッと気づきました。ずっと就職活動をするか留学するか悩んでいたのですが、好きなことをやればよい、自分が好きと気づいていなくても、何か夢中になれることを探せばいいんだとわかりました。河本さんはすごくアクティブで親しみやすく、私もこんなふうになればと思うような方でした。河本さんが言われた客室乗務員のおもてなしのスピリット、「小さなことほど丁寧に、当たり前のことほど真剣に」という言葉がすごく心に残っています。何にでも当てはまることだと思うので、これからこの言葉を大事にして前に進んでいきたいと思います。

このシリーズは、毎号さまざまな分野で活躍する卒業生を訪ね、仕事に何を求め、仕事を通して何を考えてきたかを取材しています。級友の方々にとっては良き近況報告、学生諸君には将来のキャリア・プランと学生生活の現実を考える機会になれば幸いです。

会社に入って重要なのは、 人と人の関係をうまく築くこと。

入社以来、電子楽器の開発を行うP・A・D・M・I事業部で、ソフトウェア開発を担当しています。具体的には、電子楽器に組み込まれたCPUを動かすプログラム作成です。お客様の要望を反映してアプリケーションの仕様を決めるなど、より使いやすい楽器を作り出すことが仕事です。最近商品化したものでは、電子ピアノとアコースティックピアノ(電気によらない普通のピアノ)を融合させたハイブリッドピ

アノがあります。繊細なタッチ感や音の表現力ではアコースティックピアノが優れていますが、その代わりサイズが大きく、メンテナンスも大変です。ハイブリッドピアノは、最新の電子技術によってグラランドピアノの演奏感を再現、省スペースでチューニングも不要です。専門家にも高い評価を受けている、このピアノの1号機の開発にシステム設計リーダーとして携わりました。仕様の決定から始まり、開発プロセス



撮影協力：ヤマハミュージック東海浜松店

の最初から最後まで関わりました。入社4年でリーダーとして関わるのは早い方だと思いますが、長い歴史を持つ老舗でありながら、ヤマハには少教精鋭で若手にも積極的に関与する風土があります。もともと音楽には興味があり、高校から大学とクラシックギターを弾いていました。工学部4年のときに音楽情報処理の研究室に所属し、クラシックギターの自動編曲システムの開発に取り組んでいたのですが、自分の研究に熱中しすぎて授業に出なくなり留年。でも5年目はほとんどの時間を研究に費やすことができ、自由で充実した研究室での2年間でした。当初は大学院へ進学するつもりだったのですが、いろいろ考えた末に早く社会へ出た方がいいと思いい、ヤマハに入社することにしたのです。大学時代を振り返ると、1年から3年の終わりまで、毎日ギタークラブのボックスでクラシックギターを弾いていたことを思い出します。その頃の仲間とは今も付き合いがあり、大学時代に得た大きな財産はまさにそれだと思います。会社に入っても重要なのは、人間関係をうまく築けるかどうかです。

能力の有無も大事ですが、結局は人と人が仕事をしていくのですから、信頼を得られなければいけません。力があってもそれを発揮する場は与えられません。それに、どんなに最新の良いものを開発しても、それを生かせるかどうかは人です。私はソフトウェアの開発をしています。その要求を出してくるのは人。その人との間でしっかりコミュニケーションを取ることができないと、いい仕事をするのは不可能です。そういう意味では、ギタークラブで幹事長を務め、人間関係の難しさに悩んだ経験が今、とても役に立っていると感じます。これからの希望は、商品プロデュースするような仕事に携わることです。今はソフトウェアに限定されていますが、楽器そのものをプロデュースしてみたい。世の中は流れが速く、新しいものが次々と古くなっていきます。その中でこういうものがほしいという世間のニーズをいち早くつかみ、先端の技術を取り入れて、新しい楽器を作ってみたいと思っています。

P R O F I L E

丸山 剛志さん
【2005年工学部知識工学科卒業】

ヤマハ株式会社
P・A・D・M・I事業部
DMI開発部DMIソフト開発グループ
主任

留年が決まった後、すぐに就職活動をしてヤマハに内定。残した単位もわずかだったことから、最後の1年間は心置きなく研究に没頭し、学会などにも参加した。入社後は、希望した電子楽器の開発に携わることができ「会社には本当に感謝しています。クラシックギターをやっていたので、ヤマハという会社には昔から漠然と憧れを持っていました」。一目に受けたヤマハの入社試験で内定が決まったので、結果、他の会社は受けていないという。将来はマネジメントにも関わりたいという希望を持っている。



私と「仕事」

夢をあきらめないで、やりたいことに向かつて動くことが大切。



だことから、法律の力で弱者を救済し、世の中の役に立ちたいという思いも胸に秘めていました。

同志社大学の司法研究科でみっちり2年間勉強し、合格後の司法修習を経て、弁護士の実務に就いてもうすぐ2年になります。堺市の事務所を選んだのは、地方都市の方が多様な仕事があり、ありとあらゆる経験を積んで早く吸収したいと考えたからです。今は事務所の一般民事の仕事と、それ以外にも弁護士会の活動や、弁護士団に入って国際人権関係環境問題、公害に関する問題などにも携わっています。私の場合、企業法務はほとんどなく、民事と刑事が中心です。弁護士の仕事は本質的に人の権利を守るということですが、現実にはいろいろなケースに対応しなければなりませんから葛藤を感じることもあります。常時抱えている案件はおよそ40件。想像以上にハードで毎日走っている感じがします。

昨年、ジュネーブの国連欧州本部で行われた自由権規約に関する日本政府報告書審査に、日弁連の代表として派遣される機会がありました。そのときに気がついたのは、学生時代には日本の人権に関する状況について問題意識があったのに、弁護士としての実務に忙殺されるうち、いつの間にか問題意識よりも利便性を享受してしまっている自分がいたことです。例えば、警察署の留置施設を利用した取り調べは問題なのに、いつでも被告人に面会できることに利便さを感じてしまっている。本来は、面会時間が限定されている拘置施設の現状こそ改善しないといけないのです。弁護士になってわずか3年の期間で利便性に

流され既存の制度を前提として批判しなくなっていたことに愕然としましたが、そういう自分に気が付けたことは良かったと思います。

学生時代の一番の思い出は、学部2年と3年の夏休みに、ドイツへ短期留学したことです。大学のプログラムではなく自分で探した留学先だったので、下調べから手続きまで全て自分でこなさないと行けませんでした。どうにかしないと行けないときには自分で動くしかない、自分で道を切り開かないと誰も助けてくれないし、助けてほしい時は助けてほしいと言わないとだめなんだ、ということを学んだ気がしますが、今も土壇場に強いと言われることがあるのですが、そのときの経験が生きているのかもしれない。

後輩の皆さんに伝えたいのは、自分の夢や目指すものをあきらめずに追いかけてほしいということ。自分のやりたいことが定まっているのなら、それに向かつて頑張ってほしい。しかも思っているだけでなく、自分で動くことと行動に移すことが大切ですね。

大学に入学した頃は司法試験なんて難しくして無理だと思っていました。法学研究科前期課程2年のとき、やっぱり将来は法律を扱う仕事をしたいと思うようになり、弁護士を目指しました。法律に興味を持ったのは、小学生のときに起った湾岸戦争がきっかけです。平和を構築するためには法律が必要と知り、国際法を勉強したいと思うようになりまし

た。また、小学校の社会の授業で公害病について学ん

た。また、小学校の社会の授業で公害病について学ん

た。また、小学校の社会の授業で公害病について学ん

P R O F I L E



川崎 真陽さん
 【2001年法学部法律学科卒業、2003年法学研究科公法学専攻博士課程(前期課程)修了、2006年司法研究科修了】
 弁護士法人シヴィル法律事務所 弁護士

法学研究科修了後、1年間の準備期間を経て司法研究科へ。『同志社のロースクールに決めたのは、いろいろな方から講師陣が充実していて良いと薦められたからです。その選択は正しかった。同志社で学んだから今の私があると思っています。』2006年9月に司法試験合格。08年1月、現在の事務所へ就職した。将来は独立を考えているが、アメリカに留学したいという思いもある。『国際人権活動はこれからもずっと続けていきたい』と話す。

C E M E N T

●12月20日(日) 混声合唱団こまくさ「第40回定期演奏会」

14:00 ~ 1000円

八幡市文化センター大ホール

(京阪八幡・京阪樟葉・近鉄新田辺・JR京田辺から、
京阪バス「八幡市役所」下車すぐ)

第20回同志社京田辺クリスマス燭火賛美礼拝

クリスマスはキリストの誕生を記念し、すべての人々が愛と信頼によって結ばれる未来を待ち望む祝祭です。キリストの希望を象徴するキャンドルライトの光のもと、共にクリスマスの礼拝を捧げましょう。皆様のご来場をお待ちしています。

【日 時】12月12日(土)

開演16:30 / 開場16:00 (終了予定18:00) 入場無料

【会 場】京田辺校地 同志社新島記念講堂(女子大学構内)

【お問い合わせ先】京田辺校地キリスト教文化センター
TEL:0774-65-7370

同志社クリスマスキャンドルライトサービス

キャンドルの光のもと、皆さんで一つになって、イエス・キリストの誕生をお祝いしましょう。

【日 時】12月19日(土)

開式18:00 / 開場17:30 入場無料

【会 場】今出川校地 同志社栄光館(女子大学・女子中高構内)

【主 催】同志社クリスマスキャンドルサイトサービス実行委員会

【後 援】同志社中学・高校・女子中高・国際中高・香里中高宗教部

同志社大学キリスト教文化センター・同志社女子大学宗教部

【お問い合わせ先】女子大学宗教部 TEL:075-251-4141

第45回全同志社メサイア演奏会

キリストの降誕・受難・復活を讃えるヘンデルの大作「メサイア」は、キリスト教の精神を徳育の基本に据えた本学の学風の中で長年にわたり、学生、教職員、卒業生、また地域の人々に愛されてきました。皆さんが素晴らしいクリスマスを過ごされますよう、一同心を込めて演奏します。お誘いあわせのうえご来場ください。

指揮:北原 幸男

合唱:同志社メサイアコア、メサイアシンガーズ、同志社グリークラブ

オーケストラ:同志社交響楽団

【日 時】12月24日(木)開演18:00 / 開場17:00

(当日16:30から座席券交換)

【会 場】京都コンサートホール大ホール

(京都市営地下鉄烏丸線 北山駅下車 1番出口 南へ徒歩3分)

【料 金】S席 2,000円 A席 1,000円 (全席当日指定)

【販 売】同志社大学生協 京田辺旅行カウンター

TEL:0774-65-8376

同志社大学生協 今出川プレイガイド

TEL:075-251-4433

京都コンサートホールプレイガイド TEL:075-711-3090

チケットぴあ TEL:0570-02-9999

http://t.pia.co.jp Pコード338-440

【主 催】全同志社メサイア演奏会実行委員会【後援】学校法人同志社

【お問い合わせ先】全同志社メサイア演奏会実行委員会

TEL:080-3864-2412

E-mail:doshisha.messiahconcert2009@softbank.ne.jp

今出川校他キャンパスツアーガイド募集!

キャンパスツアーは、研修を受けた在学生が受験生や一般の方と共にキャンパスを巡りながら、同志社の魅力を伝える仕事です。今出川校地内の重要文化財建築物や、同志社の建学の精神を紹介する中で、在学生の皆さんにとっても母校同志社の新たな発見につながるはずです。今出川・京田辺の学生を問わず、積極的にご参加ください。

【時 給】880円

【お問い合わせ先】今出川校地広報課 TEL:075-251-3120



同志社ローム記念館プロジェクト募集

来年4月からローム記念館を拠点に活動を行う公募プロジェクトを募集しています。採択されると、プロジェクトルームが利用できたり、必要経費が付与されるなど、1年間の活動に対するサポートがあります。あなたのアイデアを仲間と形にしてみませんか。詳細は、ローム記念館HP (<http://rohmdrm.doshisha.ac.jp/>)をご覧ください。

【エントリー締切】1月20日(水)

【2010年度プロジェクト活動期間】

2010年4月7日(水)~2011年3月24日(木)

【お問い合わせ先】京田辺校地総務課(ローム記念館事務局)

TEL:0774-65-7800



障がい学生支援制度サポートスタッフ大募集!

講義の空き時間を利用して、あなたもサポートスタッフのメンバーになりませんか。障がい学生支援室では、同じキャンパスで学ぶ障がい学生(Challenged)のサポートスタッフを募集しています。初めての方でもできることはたくさんありますので、ぜひスタッフに登録して、パソコン通訳・ノートテイク・ビデオ字幕付け・車椅子介助などの活動にご協力下さい!

詳しくは障がい学生支援室HP (<http://www.doshisha.ac.jp/students/support2/shogai/>)で随時お知らせしています。興味のある方は障がい学生支援室までご連絡ください。

【支援活動の内容】

聴覚障がい学生へ:ノートテイク、パソコン通訳、ビデオ文字起こし、
ビデオ字幕付けなど

視覚障がい学生へ:ガイドヘルプ、代筆、代読、対面朗読、講義資料の
電子データ化など

肢体不自由学生へ:代筆、車椅子介助、トイレ介助、食事介助など

【謝 礼】880円(時間)

【お申し込み・お問い合わせ先】

京田辺校地学生支援課 障がい学生支援室 TEL:0774-65-7411

今出川校地学生支援課 障がい学生支援室 TEL:075-251-3273

Hardience(ハーディー友の会)メンバー募集中!

同志社大学今出川校地学生支援課では、より多くの方に、寒梅館のイベントをきっかけとして本学および本学学生の活動に関心を持っていただくため、私たちと共に催しを盛り上げていただける方を募集しています。お申し込みは今出川校地学生支援課窓口まで。随時受付中です。

【対 象】一般・他学生(本学学生・教職員は対象外)

【会費無料】

【特 典】寒梅館イベント情報の郵送、案内メール配信、映画招待券や
コンサート入場券のプレゼント・入場料割引、学生団体による
公演・お芝居等へのご招待、寒梅館レストランでの割引 etc.

【お問い合わせ先】今出川校地学生支援課 TEL:075-251-3270

A N N O U N

ビジネスプランコンテスト開催

「同志社大学New Island Contest」は、今年で6回目を迎えるビジネスプランコンテストです。予選を勝ち抜いたチームが個性豊かなビジネスプランを発表しますので、ぜひ聞きに来てください。

【日 時】12月12日(土) 13:00～

【場 所】今出川校地 臨光館201教室

【主 催】リエゾンオフィス、同志社ベンチャートレイン

【協 賛】株式会社南都銀行、株式会社池田銀行、
同志社校友会大阪支部産官学協会(LCC)

【お問い合わせ先】リエゾンオフィス TEL:0774-65-6223



WOT(ワット)="What's on Thursdays!"

「木曜日には何かがある!」を合言葉に、開講期間中の毎週木曜日、映画上映を中心に多彩なイベントを開催します。

【会 場】今出川校地寒梅館ハーディーホール

【料 金】本学学生・教職員はすべて無料

●12月5日(土)《21.1世紀の音楽会(アワーミュージック)》 16:30～
映画上映『フーガの技法』(石田尚志監督)+

『放蕩息子の帰還』(ストロブ=ユイレ監督)

コンサート 井上郷子ピアノ・ソロ

料金:一般2000円、Hardience会員・他大学生1500円

●12月10日(木) 講演会(詳細未定)

●1月14日(木)《21.1世紀の音楽会(アワーミュージック)》

ライブ ディヴィッド・グラブス、ノエル・アクショテ、大友良英、

秋山徹次、安田美充央 19:00～

料金:一般3500円、Hardience会員・他大学生3000円

【お問い合わせ先】今出川校地学生支援課 TEL:075-251-3270

※詳細は決定次第、学内掲示板・チラシ・大学HPなどで告知します。

※内容は都合により変更となる場合があります。

※今年度のWOTは1月で終了します。次年度は4月から開催する予定です。



クローバーシアター

寒梅館のミニシアター・クローバーホールでは、開講期間中の毎週火曜日、映画史に残る名作の上映を中心に、様々なイベントを開催します。

【会 場】今出川校地寒梅館クローバーホール(地階)

【料 金】入場無料(12/8は500円均一)

*本学学生・教職員はすべて無料

●12月1日(火)《21.1世紀の音楽会(アワーミュージック)》

映画上映『シュトックハウゼンの「モメンテ」』

(リュック・フェラーリ制作)ほか 17:00～

●12月4日(金)《21.1世紀の音楽会(アワーミュージック)》

映画上映『メシアンの「われ試写の復活を待ち望む」』

(リュック・フェラーリ制作)ほか&レクチャー:伊藤祐二(作曲家)

17:00～

●12月7日(月)《21.1世紀の音楽会(アワーミュージック)》

映画上映『パリのセシル・テイラー』(リュック・フェラーリ制作)ほか

17:00～

●12月8日(火)《21.1世紀の音楽会(アワーミュージック)》18:30～
ライブ フォルマント兄弟(佐近田展康+三輪真弘)、
岡野勇仁(キーボード)、田中悠美子(三弦)

料金:500円均一

●12月15日(火)《21.1世紀の音楽会(アワーミュージック)》

映画上映『リュック・フェラーリある抽象的リアリストの肖像』

(宮岡秀行制作)ほか 17:00～

【お問い合わせ先】今出川校地学生支援課 TEL:075-251-3270

※詳細は決定次第、学内掲示板・チラシ・大学HPなどで告知します。

※内容は都合により変更となる場合があります。詳細はお問合せください。

※今年度のクローバーシアターは12月で終了します。次年度は4月から開催する予定です。



bふらっとプログラム

ハローホール(多目的ホール)では、コンサートや映画上映などの多彩な文化プログラムを行っています。ふらっと、ハローホールにお立ち寄りください。

【会 場】京田辺校地ハローホール

【料 金】無料

●12月8日(火) 映画上映『スラムドッグ\$ミリオネア』

12:30～ 15:00～ 17:15～

●1月19日(火) 大道芸 パフォーマー:リスボン上田

12:30～ ハローホール前広場にて

♪観に行こう聴きに行こう♪—学生団体12月～3月の活動予定

【京田辺キャンパスハローホール】(ホール広場前含む)

●12月3日(木) 喜劇研究会「お笑いライブ」 13:30～

●12月5日(土) モダンジャズバレエサークル「自主公演」(時間未定)

●12月11日(金) とんがりぼうし「1回コンサート デモ演」 12:15～

●12月12日(土) とんがりぼうし「1回コンサート」 12:30～

●12月16日(水) The Amplugged 「クリスマスライブ」 15:00～

●12月19日(土) F.A.C 「企画ライブ」 11:00～

●1月9日(土) F.A.C 「定期演奏会」 11:00～

●1月16日(土) とんがりぼうし「フェアウェルライブ」 10:00～

【寒梅館ハーディーホール】

●12月6日(日) 学生混声合唱団C.C.D. 「第57回定期演奏会」

15:30～ 800円

●12月13日(日) リーダー克蘭ツ「創立76周年記念定期演奏会」

14:30～ 1000円

●12月19日(土) コールフレューゲル「第43回定期演奏会」

18:00～20:00 500円

●12月20日(日) 応援団「アトムフェスティバル」 17:00～20:00

●12月23日(水) ピアノ研究会「第8回定期演奏会」 18:00～20:00

●2月21日(日) 交響楽団「フェアウェル演奏会2010」 18:00～

【学外】

●12月12日(土) グリークラブ「第105回同志社グリークラブ

定期演奏会」

17:30～ S席1500円 A席1000円

文化パルク城陽プラムホール

(近鉄寺田駅東口から南へ約450メートル 徒歩10分)



同志社大学新用地キャンパス 名称募集!

～キャンパス名を考えてみませんか?～

同志社大学は、本年12月に京田辺校地近郊の「京都厚生年金休暇センター（ウェルサンピア京都）」を取得し、国際交流及び地域との共生を軸にした教育・研究に活用していきます。

またこの10月には、門川京都市長から今出川校地の北にある「京都市産業技術研究所繊維技術センター」用地を本学に売却する方針が示されました。本学は、同志社中学校が岩倉校地に移転する2010年から今出川校地の再整備に着手し、2013年4月に文系学部の1、2年次生の教育拠点を京田辺校地から今出川校地に変更し、さらには国際的な地域理解を持つ人物の育成を目指す学部の開設を予定しています。京都市が売却予定の上記用地は、新学部や2010年4月開校の大学院グローバル・スタディーズ研究科、そして総合政策科学研究科の教育・研究拠点として、本学の教育・研究環境の向上に大いに役立つものと期待しています。

今回、京田辺校地と今出川校地に新たに加わる予定の2つのキャンパス名称を、広く同志社大学関係者の皆さんから募集します。

応募資格 在学生、卒業生、教職員

応募締切 1月29日(金)

お問い合わせ先 企画部企画室企画課 TEL 075-251-4680

※応募要領・方法については、本学HP(<http://www.doshisha.ac.jp/>)をご覧ください。

※今出川校地の新キャンパス名称の募集は、京都市から売却されることを前提として行っています。